

教員採用試験特別講座が本格化

METTS では、7月に迫った教員採用試験の対策を強化しています。今年度は、教職課程を履修している45人の4年生（日本語学科18人、英米語学科25人、中国語学科2人）の内25人が、千葉県、東京都、川崎市、熊本県の教員採用試験を受験する予定です。このため、以下のような対策講座によりMETTSの教員が一丸となって教員志望の学生の夢を叶えるための指導をしています。

なお、今年度から3年生から教員採用試験の受験ができる自治体があります。本学でも9人の3年生が受験予定です。

1 筆記試験対策講座

学習指導要領、教育原理、教育法規、教育時事、教育心理、教育史、各自治体の教育施策といった分野から出題される教職教養対策と国語、英語の専門教養対策として、教員による講習や、ビデオ講座の視聴などを通して試験対策を進めています。学生からは、「METTSの先生方が解説する重要ポイントが、繰り返し出題されていることなどを知り、ポイントを絞った対策が重要だと感じた」「自分が志望する自治体の教育施策をよく知ることが大切だと感じた」などの声が聞かれました。

2 論文問題対策講座

教員採用試験では、与えられたテーマに基づいて教育問題について考えを述べる小論文が課される自治体があります。このためMETTSでは、論文問題対策講座を行い、読み手に伝わる論の立て方や力強さが伝わる書き方などについて添削指導を繰り返し行うことで、合格答案を書く力が身に付くようにしています。学生からは「論作文に取り組むことで、自分がどんな教師になりたいのかを深く考える機会になる」などの声が例年聞かれます。

3 面接試験対策講座

様々な教育課題についての質問に答えたり、受験者同士が議論したりする面接試験のための対策も強化しています。教員としての熱意、使命感、感性、人間性、組織の一員として貢献できる力があるかどうかなどをみる面接に対応できるように、面接のモデルとなるDVDを視聴した後、学生が自らの持ち味を面接官に伝えることができるよう模擬練習を繰り返し行って準備しています。

